

北海道胆振東部地震被災地へ歯科医療スタッフを派遣。

報道等によってご承知のとおり、胆振地方には未だに避難所生活を強いられ、物資をはじめ医療面などでの支援を必要としている方々がたくさんおられます。歯科クリニックでは、北海道および北海道歯科医師会の要請の下、北海道災害対策本部保健医療調整本部歯科支援チームの現地コーディネーターを務める地域支援医療科の越野寿教授が中心となり、北海道大学、苫小牧歯科医師会、北海道歯科医師会、北海道歯科衛生士会と連携し、歯科医師および歯科衛生士からなる「歯科医療支援チーム」を結成。9月10日(月)から24日(月)までの15日間、厚真町、むかわ町、安平町の3町被災地において口腔衛生状態の改善に貢献する活動を実施しました。

今後も北海道、北海道歯科医師会からの要請に応じて支援活動に従事していく予定です。



スンシル大学校(韓国・ソウル)社会福祉学部と看護福祉学部との学部間交流協定が締結。

10月22日(月)にスンシル大学との学部間学術交流協定締結の調印式を行いました。今後、教職員及び研究者の交換交流や学生の交流を通じて、双方の教育、研究の活性化を図っていきます。

スンシル大学校

1897年に米国人キリスト教宣教師により平壤に設立した崇実学堂に始まる。現在は9単科大学、29学科、10学部、一般大学院に40学科(修士・博士課程設置36学科+修士課程設置4学科)、特殊大学院に6大学院41学科(専攻)を開設している私学総合大学。



学校法人日本体育大学・当別町・株式会社北海道銀行との4者連携・協力に関する協定書の締結。

11月5日(月)、学校法人日本体育大学、当別町、株式会社北海道銀行と本学園との間で4者による連携・協力に関する協定の締結式が執り行われました。

この連携は、「体育・スポーツ及び健康づくりの分野において、相互に連携・協力し、また、それぞれの有する資源を有効かつ適切に活用し、4者の一層の発展とさらなる社会貢献を図ること」を目的としています。

今後は、教員、学生、町民による交流、学術研究交流、講演会の共同開催など具体的な取組が行われる予定で、大学間交流、スポーツ振興、医療・福祉の推進、地域創生に大いに貢献することが期待されます。



NEWS

「わが国から肺がんと胃がんで亡くなる人をなくすために」

浅香 正博学長の著書が発行されました! お求めは、紀伊国屋・丸善売店にて。300円(税込)で発売中!



EDITOR'S NOTE

2018年も残りわずかとなりました。今年は平昌オリンピックに始まり、サッカーW杯などスポーツの話題で盛り上がりましたね。平昌オリンピックでは、スキージャンプやスピードスケートなど北海道出身の若手選手の活躍が目立ちました。競技種目の中でもカーリング女子は大きな注目を集め、北海道弁「そだね〜」や「もぐもぐタイム」の流行語が生まれたり、サッカーW杯では、グループリーグを突破し、決勝トーナメント進出を果たした日本チームを応援しようと寝不足続きの方も多かったのではないのでしょうか。

天皇陛下が生前退位されることになり、巷では「平成最後の〇〇」という言葉を耳にする機会も多かったように思います。高校野球(甲子園)は今年で100回の記念大会を迎え、様々な節目の年とも言えるかもしれません。本学では、今年度から臨床心理学科で「公認心理師」の国家資格取得に対応した新カリキュラムがスタートし、来年度から医療技術学部臨床検査学科を新設するなど、まさに節目の年となりました。今後とも学生、教職員、卒業生の皆さまからお力添えをいただき、チーム一丸となって新たな時代へチャレンジし続けたいものですね。(S・Y記)

ADVANCE

北海道医療大学広報誌 No.171

STAFF ● 遠藤 泰 浜上 尚也 仲西 康裕 松田 康裕
遠藤 紀美恵 志渡 晃一 金澤 潤一郎 澤田 篤史
本家 寿洋 柳田 早織 大山 静江 杉谷 昌彦
三川 清輝 小林 伶

発行日 ● 2018年12月

編集・発行 ● 北海道医療大学広報部 入試広報課
〒061-0293 北海道石狩郡当別町金沢1757
☎0120-068-222
http://www.hoku-iryu-u.ac.jp/

広報誌についてのご意見・ご要望・情報等をお待ちしています。
E-mail:nyushi@hoku-iryu-u.ac.jp



■北海道医療大学の教育理念
生命の尊重と個人の尊厳を基本として、保健と医療と福祉の連携・統合をめざす創造的な教育を推進し、確かな知識・技術と幅広く深い教養を身につけた人間性豊かな専門職業人を育成することによって地域社会ならびに国際社会に貢献することを本学の教育理念とする。